



第1回 自分だけの香を作ろう!



創業300年を誇る香老舗松栄堂。それぞれの感性や感覚を頼りに、自分だけの香りを作るワークショップです。できあがった香りは、巾着袋に入れてお持ち帰りいただけます。

日時: 2022年1月23日(日)
 第1回/午後1時~午後2時
 第2回/午後2時半~午後3時半

場所: 京都新聞文化ホール(京都市中京区烏丸通夷川上ル)
 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅すぐ

解説: 辻光一郎(香老舗 松栄堂 企画事業部)

対象: 小学生とその保護者

定員: 各回15組(応募多数の場合は抽選)

応募期間: 12月13日(月)~2022年1月10日(月・祝)

協力: 香老舗 松栄堂

参加費
無料

第2回 オリジナルミニ提灯を作ろう!



江戸寛政年間創業の小嶋商店。一貫して、手作業で頑丈で無骨な提灯を生み出してきました。伝統的な素材と技術を使って、ミニサイズの提灯を作るワークショップです。独特のあたたかみがある提灯を、お部屋に飾ってお楽しみください。

日時: 2022年1月30日(日) 午後1時~午後3時

場所: 京都新聞文化ホール(京都市中京区烏丸通夷川上ル)
 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅すぐ

解説: 小嶋 諒(小嶋商店 提灯職人)

対象: 小学生とその保護者

定員: 15組(応募多数の場合は抽選)

応募期間: 12月13日(月)~2022年1月10日(月・祝)

協力: 小嶋商店

参加費
無料

Access アクセス情報

元離宮二条城 京都市中京区二条通堀川西入 二条城町541

- 京都市営地下鉄東西線: 二条城前駅から徒歩1分
- 京都市交通局(市バス): 9・12・50・急行101・111系統 二条城前バス停下車すぐ
- JR嵯峨野線: 二条駅から徒歩17分



音羽山 清水寺 京都市東山区清水1丁目294

- 京都市交通局(市バス): 206・207・100系統 清水道または五条坂下車、徒歩10分
- 京都バス(土・休日のみ運行): 18系統 五条坂下車、徒歩10分
- 京阪バス: 83・85・87・88系統 清水道または五条坂下車、徒歩10分
- 京阪電鉄: 清水五条駅から徒歩25分



nendo × 京都の匠展

- NENDO SEES KYOTO -

問い合わせ

nendo × 京都の匠展実行委員会(京都新聞COM内)

TEL: 075-255-9757(平日午前10時~午後5時)

主催: nendo × 京都の匠展実行委員会

(nendo、京都市内博物館施設連絡協議会、公益財団法人京都市観光協会、京都新聞、京都市、京都市教育委員会)

協力: アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, inc.、苺彩堂、大光電機、フジヤ、三越伊勢丹プロパティ・デザイン、Space Power Technologies、Ruinart

ロジスティクスパートナー: TERRADA ART ASSIST

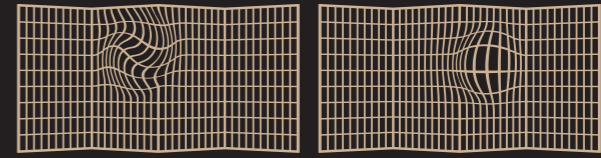
●この事業は、宿泊税を活用しています。 ●お越しの際は、市バス、地下鉄など公共の交通機関をご利用ください。

N E

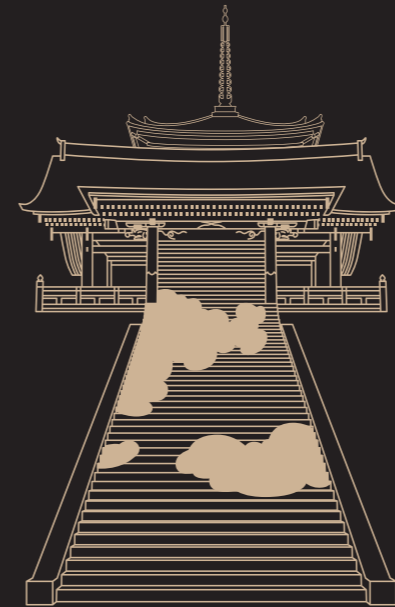


N D O

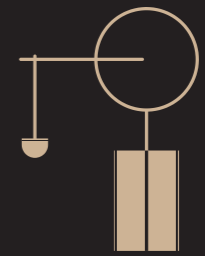
S



E



E

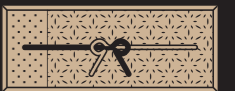


S

K

Y

O



T

O

nendo × 京都の匠

nendo × 京都の匠展

— NENDO SEES KYOTO —

気鋭のデザイナー・佐藤オオキと京都の作り手たちがコラボ！心躍る作品たちが大集合！

会期 2022年1月13日(木)～2月13日(日) ※清水寺経堂は1月13日(木)～2月6日(日)

会場 二条城 台所・御清所 / 清水寺 西門・経堂

時間 二条城 / 午前9時～午後4時(受付終了)

清水寺 西門 / 午前6時～午後6時 経堂 / 午前9時～午後6時

入場料 二条城 / 500円(高校生以下無料 ※要証明) ※別途二条城への入城料がかかります

清水寺 / 無料 ※本堂への参拝には別途拝観料がかかります

◎二条城は予約優先制です。予約は右記サイトから(12月13日午前9時から予約開始)

▶ https://www.e-tix.jp/nendo_kyotonotakumi/



元離宮二条城

junwan 十五代 樂吉左衛門・直入



茶碗が飲むってどういうこと!?

色素を含んだ飲み物を茶碗に吸い込ませ、本来は「器で飲む」はずが、「器が飲む」ことで自ら模様を描きだす表現に。

sunafuki 十三代 中村宗哲



足すから引く発想へ転換!

蒔絵や螺鈿を施すのではなく、金属粉を吹きつけて削ることで、下地を露出させ、季節ごとに「時間がうつろいゆく様」を表現。

hyouri 小嶋商店



ひっくり返って、あら不思議!

竹ひごを関節のように使うことで、「裏返し」ができる提灯。折り返して重ねることで、軽やかで多様な表情をもつ提灯が誕生。

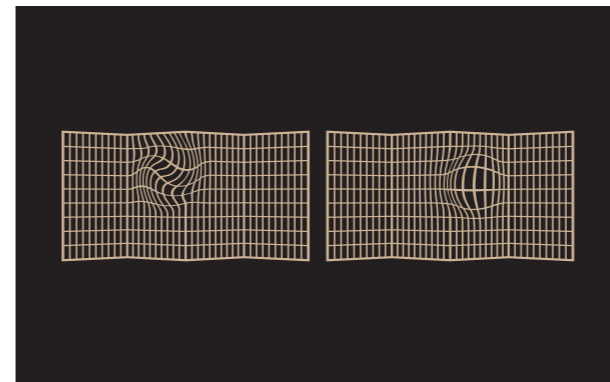
ishidansu 小川勝章(植治 次期十二代)



石が木にくっつくの!?

庭園の魅力を屋内に取り入れるため、庭にある「石」と、屋内らしさを添える「引き出しをしつらえた木材」を組み合わせて制作。

fuu-raijin 宮崎家具



そこに確かに風神が!雷神が!!

京指物と彫刻の技術で制作された、木格子の「風神雷神図屏風」。平面の世界に、風神と雷神が立体的に感じられる表現。

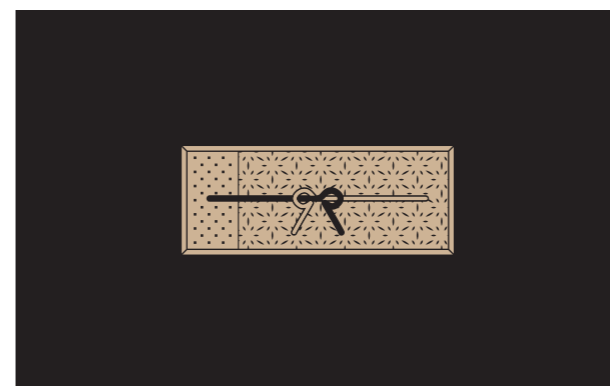
teppun 十六代 大西清右衛門



最新技術と伝統技術が混ざり合うと!?

3Dプリンターで作った器に、茶釜の伝統技術を用いて、内側は繊細にかつ外側は荒々しく、多彩な表情を生み出した。

yuikou 香老舗 松栄堂

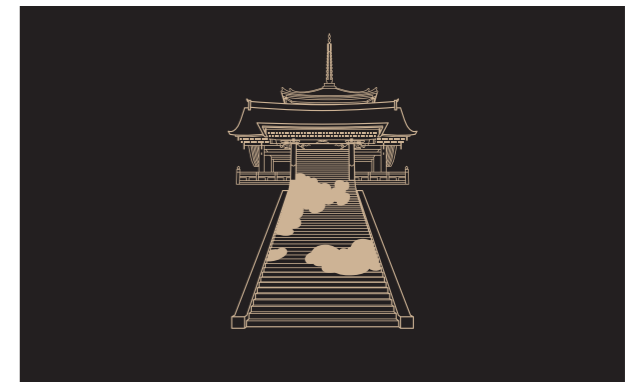


燃やさず、見ていたいお香?

カラフルな色とユニークな形のお香が、まるで水引や帯締めのように結びあわさるさまを表現。

音羽山 清水寺

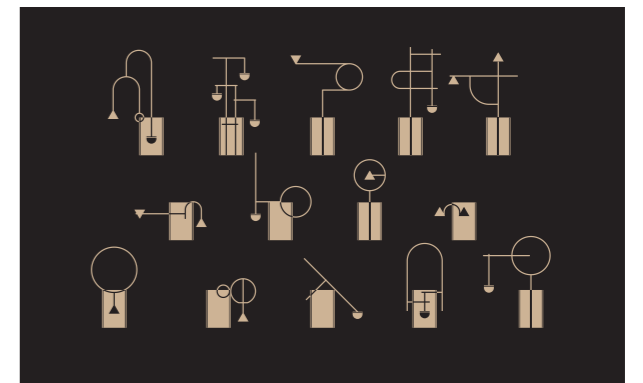
nissoudan 清水寺 西門



浮かび上がる、西の空!

西門の階段を鏡面で覆うことで、普段は見えない西の空の景色が浮かび上がるように表現。

koumyo 清水寺 経堂



目に見えないが、存在するとは!?

電気を飛ばす技術を使った照明器具で、「目に見えないが、そこに確かに存在するエネルギー」を感じられる「祈りの空間」を、観音菩薩の33種の変身に対応し、33種の照明を制作して表現。

nendo

佐藤オオキ

Okii Sato



1977年カナダ生まれ。
2002年早稲田大学大学院建築学専攻修了。デザインオフィスnendoの代表。
2006年、Newsweek誌「世界が尊敬する日本人100」に選出され、世界的なデザイン賞の数々を受賞。2015年、ミラノ万博「日本館」内ギャラリーの空間プロデュース及び日本各地の伝統工芸品とのコラボレーション作品をデザイン。
2021年、東京オリンピック・パラリンピックの聖火台をデザイン。同年、大阪・関西万博日本政府館総合プロデューサーに就任。



nendo
ホームページ